

## 令和6年度当初予算案における主要な施策

部 局 名
県 土 整 備 部

# 新規事業及び重要事業総括表

## I 総額

### 【一般会計】

区分	令和6年度	令和5年度	伸び率
予算総額	110,962,874千円	107,782,645千円	3.0%
一般会計構成比	5.2%	4.9%	—

### 【用地事業特別会計】

区分	令和6年度	令和5年度	伸び率
予算総額	3,604,562千円	1,775,574千円	103.0%

### 【公共事業の状況】

区分	令和6年度	令和5年度	増減額	伸び率
道路	57,803,751千円	57,131,856千円	671,895千円	1.2%
河川	23,193,545千円	23,187,237千円	6,308千円	0.0%
直轄	11,178,000千円	11,188,000千円	△10,000千円	△0.1%
合計	92,175,296千円	91,507,093千円	668,203千円	0.7%
(直轄除く)	80,997,296千円	80,319,093千円	678,203千円	0.8%

# 新規事業及び重要事業総括表

(単位 千円)

## II 主な新規事業及び重要施策

### 1 災害に強い県土づくり

P 5	一部新規	埼玉版流域治水対策の推進	【河川砂防課】	11,539,987
P 6	一部新規	(中川・綾瀬川緊急流域治水プロジェクト)	【河川砂防課・河川環境課】	1,252,000
P 7		ミッシングリンクの解消による道路網の多重化	【道路街路課】	4,151,043
P 8		橋りょうの計画的な点検・修繕・更新及び耐震補強	【県土整備政策課・道路街路課・道路環境課】	14,476,044
P 9		市街地の強靱化のための無電柱化スピードアップ	【道路環境課・道路街路課】	4,096,043

# 新規事業及び重要事業総括表

(単位 千円)

## 2 生活の質を高める県土づくり

P 1 0		暮らしの安全安心を支える歩道や自転車通行空間の整備 【道路街路課・道路環境課】	3, 0 8 5, 0 0 0
P 1 1		円滑な交通と安全を確保する交差点整備の推進 【道路街路課】	8 2 6, 0 0 0
P 1 2	一部新規	安全・安心を確保するための道路の維持管理 【道路環境課】	1 5, 2 3 6, 0 6 9
P 1 3		インフラ建設管理におけるDXの推進 【県土整備政策課・道路環境課・河川環境課】	4 1 7, 7 3 1
P 1 4	一部新規	河川・砂防施設の管理徹底、強化 【河川環境課・河川砂防課】	1 6, 3 7 2, 7 8 7

## 3 地域の良さを活かす県土づくり

P 1 5		直轄事業と連携した骨太の道づくり 【道路街路課】	4, 5 7 6, 2 0 6
P 1 6		産業拠点を支えるインフラ整備 【道路街路課】	1, 2 1 1, 1 1 0
P 1 7		鉄道高架で踏切ゼロ！の推進 【道路街路課】	3, 0 3 1, 1 9 1
P 1 8	一部新規	地域に開かれたかわまちづくり 【河川環境課】	1, 2 1 4, 0 0 0

## 一部新規

担当 河川砂防課 荒川中流・小山川流域担当、荒川上流域・砂防担当、防災担当  
 内線 5135、5141、5137

## 目的

河道や調節池の整備、土砂災害対策などを加速化し「防災力」を高めるとともに、県民の迅速な避難行動に向け、洪水予報河川の拡大を目指した水位予測モデルの構築や水位計などを拡充し「減災力」も高める施策を進めることで、あらゆる関係者と協働した「流域治水」を推進し、レジリエントな社会の実現を目指す。

## 事業概要

### 1 河川・砂防関係施設の整備 10,994,987千円

(1) 河川施設整備の加速化 9,607,607千円  
 河道や調節池の整備を計画的に推進し、治水安全度の向上を図る。



(2) いのちとくらしを守る土砂災害対策 1,387,380千円  
 砂防関係施設整備を計画的に推進し、土砂災害の防止や地域の安全確保を図る。

### 2 流域対策の強化 345,000千円

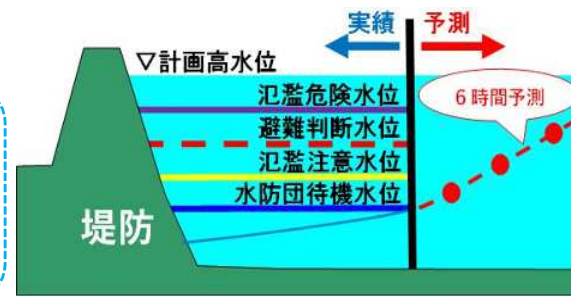
(1) 雨水貯留浸透施設の整備 345,000千円  
 校庭や住宅敷地に降った雨を貯留又は地中に浸透させる施設を整備し、河川への流出抑制を図る。



### 3 水害に備えるためのソフト対策 200,000千円

(1) 洪水予報河川の拡大・河川情報の充実 (一部新規) 200,000千円  
 水位予測モデルの構築等により、洪水予報河川を拡大、河川情報を充実させることで、迅速確実な水防体制と住民避難を実現する。

- 新規・拡充内容**
- 洪水予報河川の拡大と水位予測モデルの構築【新規】  
 県民への円滑な情報発信と避難行動を実現するため、県が管理する洪水予報河川を拡大
  - 水位計・河川監視カメラ等の設置【拡充】  
 水位計と河川監視カメラ等を設置し、河川情報の空白地帯を解消





# (中川・綾瀬川緊急流域治水プロジェクト)

【予算額】1,252,000千円(一部再掲)

一部新規

担当 河川砂防課 計画調査・流域治水担当、中川・綾瀬川流域担当  
河川環境課 河川維持担当

内線 5162、5138、5114

## 目的

令和5年6月の大雨により、中川・綾瀬川流域を中心に約4,000件の大規模な内水被害が発生した。このため、国、県、関係市町が連携して「中川・綾瀬川緊急流域治水プロジェクト」を取りまとめ、被害軽減対策を実施する。実施にあたり、中川・綾瀬川流域を「特定都市河川」に指定し、法的枠組みを活用して流域治水をより強力に推進し、浸水被害の防止・軽減を図る。

## 事業概要

### 1 特定都市河川の制度を活用した流域治水の推進 330,000千円

#### (1) 新たな河川管理施設整備に向けた調査・検討(新規) 280,000千円

今後、特定都市河川浸水被害対策推進事業費補助を活用して、内水対策にも寄与する河川管理施設整備を加速化するため、必要な調査・検討を行うとともに、河川整備計画を変更し、浸水被害の防止・軽減を図る。



令和5年6月大雨時における浸水被害状況

#### (2) 道路整備における雨水貯留施設設置等(新規) 50,000千円

特定都市河川浸水被害対策法に基づき、道路の貯留対策を推進するため、県の道路の技術基準の改訂を行う。

### 2 河川整備などの加速化 922,000千円

#### (1) 河川整備の推進 313,000千円

大規模な内水被害が発生した新方川などの整備を加速化し、早期の治水安全度向上を目指す。

#### (2) 雨水貯留施設の整備 155,000千円

中川・綾瀬川流域内の県立高校において、校庭に降った雨を貯留させる施設を整備し、河川への流出抑制を図る。

#### (3) 堆積土砂の撤去や樹木の伐採 454,000千円

河道に堆積している土砂の撤去や樹木の伐採を実施することにより、適切な機能を回復させる。



担当 道路街路課 国道担当、街路担当  
内線 5074

目的

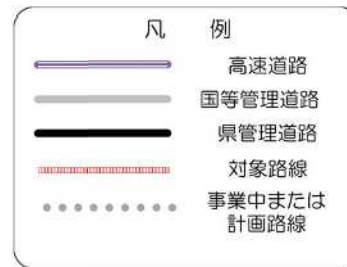
隣接都県を繋ぐ幹線道路網を多重化することにより、円滑な交通を確保し、「人や物の交流」の活性化を図るとともに、災害発生時には、代替ルートの確保により、迅速な避難や救援物資等の円滑な輸送等、「災害に強い県土」の形成を図る。

事業概要

1 ミッシングリンクの解消による道路網の多重化 4, 151, 043千円

(1) 隣接する都県を繋ぐ幹線道路におけるミッシングリンクの解消 4, 151, 043千円

隣接都県と繋がる幹線道路の未接続箇所の解消や暫定2車線区間の多車線化などを6路線9箇所を実施する。



No	路線	市町村	工区
①	国道254号	朝霞市・志木市 和光市	和光富士見バイパス 和光バイパス
②	国道125号	加須市・羽生市	加須羽生バイパス
③	国道122号 ( (都) 日光東京線 )	川口市 川口市	本町ロータリー 上之橋
④	(都) 放射7号線	新座市	栗原・新堀
⑤	(都) 保谷朝霞線	新座市	野寺・道場
⑥	(都) 飯能所沢線	所沢市 所沢市	3工区 4工区



現道の渋滞状況  
国道254号（新座市内）



整備状況  
国道254号（和光富士見バイパス）



担当 県土整備政策課 政策担当  
 道路街路課 橋りょう担当  
 道路環境課 防災担当  
 内線 5018、5068、5107

### 目的

埼玉県が管理する橋りょうの多くが高度経済成長期に建設され、老朽化に伴い多くの維持管理費を要している。道路機能の安全性と信頼性を持続的に確保するため、橋りょうの計画的な点検・修繕・更新を行うとともに、大規模地震の発生に備え、耐震補強を進める。

### 事業概要

#### 1 橋りょうの計画的な点検・修繕・更新及び耐震補強 14,476,044千円

##### (1) 着実な点検の実施 510,000千円

- ・ 橋りょうの劣化の進行状況や補修の必要性を把握するため、5年に1回の定期点検を行う。
- ・ 令和6年度においては、608橋の定期点検を行う。

##### (2) 修繕及び更新の実施 8,766,044千円

- ・ 橋りょうの安全性を確保するため、計画的な橋りょうの修繕（維持補修）や更新（架換え）を行う。
- ・ 橋りょう保全計画に基づき、以下の箇所の修繕及び更新を行う。  
 修繕（維持補修）：次木杉戸線（宝珠花橋）など160箇所  
 更新（架換え）：国道463号（建武橋）など33箇所

##### (3) 耐震補強の実施 5,200,000千円

- ・ 大規模地震の発生に備え、耐震補強を行う。  
 さいたま川口線（柳根橋）など38箇所



鋼部材の腐食

劣化状況事例



橋りょう架換え工事  
 国道463号（建武橋）



# 市街地の強靱化のための無電柱化スピードアップ

【予算額】4,096,043千円

担当 道路環境課 交通事故緊急対策担当  
道路街路課 街路担当  
交通安全施設整備担当  
内線 5098、5056、5086

## 目的

大地震や台風等の災害時に電柱倒壊や断線等により道路が閉塞することで想定される避難や救急活動への支障、停電や通信障害のリスクの軽減を図るため、無電柱化を推進する。

## 事業概要

1 『第2次埼玉県無電柱化推進計画(令和4年7月策定)』に基づく無電柱化事業の推進 4,096,043千円

(1) 『脱・電柱社会』の実現に向けた無電柱化事業の推進 4,096,043千円

防災性の向上の観点から、災害時の緊急車両等の通行空間を確保する緊急輸送道路において、無電柱化を推進する。また、無電柱化により、安全で円滑な交通の確保や、景観形成及び観光振興の観点から高い効果が期待される道路についても整備を推進する。

〔令和6年度 実施箇所〕

川口上尾線など31路線32箇所

〔大地震・台風等の災害時写真〕



阪神淡路大震災による電柱倒壊



突風による電柱倒壊  
(越谷市)



無電柱化の整備箇所  
(都) 中央通停車場線 (志木市)



無電柱化の整備箇所  
(都) 中央通り線 (川越市)

担当 道路街路課 交通安全施設整備担当  
 道路環境課 交通事故緊急対策担当  
 内線 5097、5098

目的

埼玉県における令和5年の交通事故死者数は122人(全国ワースト6位)を数え、依然として高い状況にある。交通事故死者数のうち歩行者の占める割合が約4割と最も高く、歩行者に対する交通安全対策が喫緊の課題となっていることから、歩行者と自動車を分離する歩道整備を進める。  
 また、自転車事故死者数については、埼玉県では全体の約2割を占めており、例年全国ワースト上位に位置しているため、安全で快適な自転車通行空間の整備を推進する。

事業概要

1 暮らしの安全安心を支える歩道や自転車通行空間の整備 3,085,000千円

(1) 暮らしの安全安心を支える歩道整備の推進 2,935,000千円

児童を中心とした歩行者の安全を確保するため、通学路及び未就学児の移動経路を優先して、歩道整備を進める。  
 (令和6年度実施箇所：さいたまふじみ野所沢線など100箇所)

(2) 安全で快適な自転車通行空間の創出 150,000千円

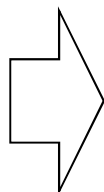
第2次埼玉県自転車活用推進計画(令和4年7月策定)に基づき安全で快適な自転車通行空間を創出する。  
 (令和6年度実施箇所：練馬川口線など10箇所)

○ 整備例

・ 歩道整備(笠幡狭山線：狭山市)



整備前



整備後

・ 自転車通行空間整備(所沢狭山線：狭山市)



整備前



整備後

担当 道路街路課 交通安全施設整備担当  
内線 5097

## 目的

埼玉県内の交通事故の約6割が交差点及びその付近で発生しており、右折帯のない交差点では交通渋滞が発生している。交差点整備を実施した箇所では、交通事故件数が約3割、最大渋滞長が約6割減少するという効果が得られている。引き続き、交通事故の減少や交通渋滞の緩和を図るため、交差点整備を進める。

## 事業概要

### 1 円滑な交通と安全を確保する交差点整備の推進 826,000千円

#### (1) 円滑な交通と安全を確保する交差点整備の推進 826,000千円

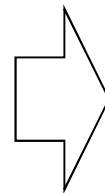
交通事故が多く発生している交差点や最大渋滞長100m以上、最大通過時間2分以上の交差点などから整備箇所を選定し、右折帯や右折避譲帯などの交差点整備を推進する。

(令和6年度実施箇所：川越栗橋線など33箇所)

#### ○ 整備例 交差点整備（吉場安行東京線：川口市）



整備前



整備後



一部新規

担当 道路環境課 補修担当  
内線 5105

目的

道路は、県民の生活を支える重要かつ身近なインフラであることから、適切な維持管理を行い、道路利用者や周辺住民の安全・安心を確保する。

事業概要

1 道路交通の安全確保、道路利用者及び沿道移住者の生活環境の保全 15,236,069千円

(1) 舗装の維持管理 10,744,700千円

安全で円滑な交通を確保するため、ひび割れ率など舗装の健全度を考慮した計画的な修繕や突発的に発生した穴等の応急的な補修、地中レーダーを用いた路面下の空洞調査・修繕を実施する。  
(令和6年度 舗装指定修繕実施箇所：熊谷寄居線など224箇所)  
(令和6年度 路面下空洞調査実施箇所：国道407号など3路線)



舗装の修繕



(2) その他の道路の維持管理 4,419,369千円

雑草の刈払いや街路樹の剪定、交通の支障物の除去を実施し、安全・安心で快適な道路空間を確保する。また、道路の通行環境を改善するため、雑草繁茂箇所に対し、防草対策を実施する。  
(令和6年度 防草対策実施箇所：国道407号など32箇所)



道路の防草対策



(3) 道路冠水常襲箇所への対策の実施 (新規) 72,000千円

令和5年6月2日からの大雨及び台風第2号の影響により甚大な道路冠水被害を受けた草加市、越谷市、松伏町などにおいて冠水感知センサー及び警報装置を設置する。  
(令和6年度 冠水感知センサー等設置箇所：越谷八潮線など18箇所)





担当 県土整備政策課 建設DX推進担当  
内線 5199

道路環境課 道路環境担当  
内線 5103

河川環境課 河川維持担当  
内線 5114

## 目的

公共インフラの品質確保、機能維持のため、本県の建設生産のシームレス化を目指す。

## 事業概要

### 1 i-Constructionの推進 340,000千円

#### (1) 3次元点群測量（道路） 100,000千円

県管理道路における道路構造物（橋りょう）の3次元点群データを取得し、設計業務や維持管理等に活用する。



橋りょうの3次元点群取得イメージ

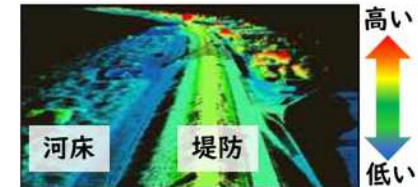
道路点群の活用イメージ

#### (2) 3次元点群測量（河川） 240,000千円

工事での活用が見込まれる河川や高築堤河川等の3次元点群データを取得し、土砂の堆積状況の把握等に活用する。



河川点群取得の例



河川点群の3D描画イメージ

### 2 インフラ建設管理におけるDXの推進 77,731千円

#### (1) GISインフラデータ活用基盤運用・保守 58,096千円

3次元データを始めとする、様々なインフラデータを一元化し、地図上から簡単にデータを検索、ダウンロードできるGISについて、データ更新、安定的な運用、改善を行う。



#### (2) 電子納品保管管理システム保守・運用 17,075千円

工事や業務委託の電子成果品を保管、管理するための電子納品保管管理システムの安定的運用とシステムの改善を行う。

#### (3) 電子検査等の推進 2,560千円

3次元CADデータ等の電子成果品を電子データのまま検査を行うことで、成果品作成や納品、検査の効率化を図る。

# 河川・砂防施設の管理徹底、強化

【予算額】16,372,787千円(一部再掲)

一部新規

担当 河川環境課 河川維持担当 ダム管理担当 河川設備担当  
河川砂防課 荒川上流域・砂防担当  
内線 5114、5116、5141

## 目的

洗堀による河床低下や堆積土砂などは、護岸崩壊や溢水による浸水被害の要因となる。頻発化・激甚化する災害から県民の安全・安心を守るため、これら河川管理施設等の計画的な維持管理を進める。  
また、排水機場・ダムなどの河川施設、砂防関係施設においても長寿命化計画に基づく適切な機能維持などを図る。

## 事業概要

### 1 河川・砂防施設の管理徹底、強化 16,372,787千円

#### (1) 堆積土砂の撤去や樹木の伐採 (一部新規) 7,322,000千円

河道や砂防堰堤において堆積土砂の撤去や樹木の伐採を実施することにより、適切な機能を回復させる。

##### 新規・拡充内容

##### ▶ NONO外来種推進費【新規】

水面に繁茂しているナガエツルノゲイトウ等の水草を除去し、排水機場の施設の目詰まりを防止する。



元荒川 (熊谷市)

#### (2) 局所的な洗堀や河床低下対策 2,646,000千円

局所的な洗堀や河床低下対策等を実施し、河川施設の機能回復を図る。



氷川 (ときがわ町)

#### (3) 長寿命化計画に基づく施設の更新等 6,404,787千円

排水機場・ダムなどの河川施設、砂防関係施設の更新・修繕を実施する。  
また、排水機場の耐震化を推進する。



排水機場ポンプ設備  
毛長川 (川口市)



砂防堰堤  
槻川 (東秩父村)



担当 道路街路課 国道担当、県道担当、街路担当  
内線 5074

目的

直轄国道等を軸として繋がる道路を整備することで骨太の幹線道路網を形成し、企業立地の促進など地域経済の活性化のほか、災害発生時における輸送路のリダンダンシー確保による県土の強靱化を図る。

事業概要

1 直轄事業と連携した骨太の道づくり 4,576,206千円

(1) 直轄国道の整備と連携した県管理道路の整備推進 4,576,206千円

現在事業中の直轄国道に繋がる県管理道路や地域高規格道路(県施行)の整備を14路線17箇所で行う。



No	路線	市町村	工区
①	国道140号	秩父市	大滝トンネル 長尾根BP
②	国道254号	朝霞市、志木市 和光市	和光富士見BP 和光BP
③	さいたま鴻巣線	北本市	高尾
④	川越越生線	鶴ヶ島市	新川越越生
⑤	東松山鴻巣線	吉見町	久保田
⑥	上里鬼石線	上里町	神保原
⑦	本庄寄居線	本庄市	本町
⑧	越谷野田線	松伏町 松伏町	松伏西 田島
⑨	柿木町蒲生線	草加市・越谷市	
⑩	越谷流山線	三郷市、吉川市	半田
⑪	(都)南浦和越谷線	越谷市	1工区
⑫	(都)浦和野田線	越谷市	元荒川
⑬	(都)三郷流山線	三郷市、吉川市	彦糸
⑭	蓮田白岡久喜線	蓮田市	蓮田SIC



整備状況  
⑧越谷野田線(松伏町・田島)

担当 道路街路課 国道担当、県道担当  
内線 5074

目的

本県の交通の要所としての魅力をさらに高めるため、産業拠点へのアクセス道路の整備を重点的に行い、円滑な交通を確保し、周辺の渋滞緩和や地域の振興を図る。

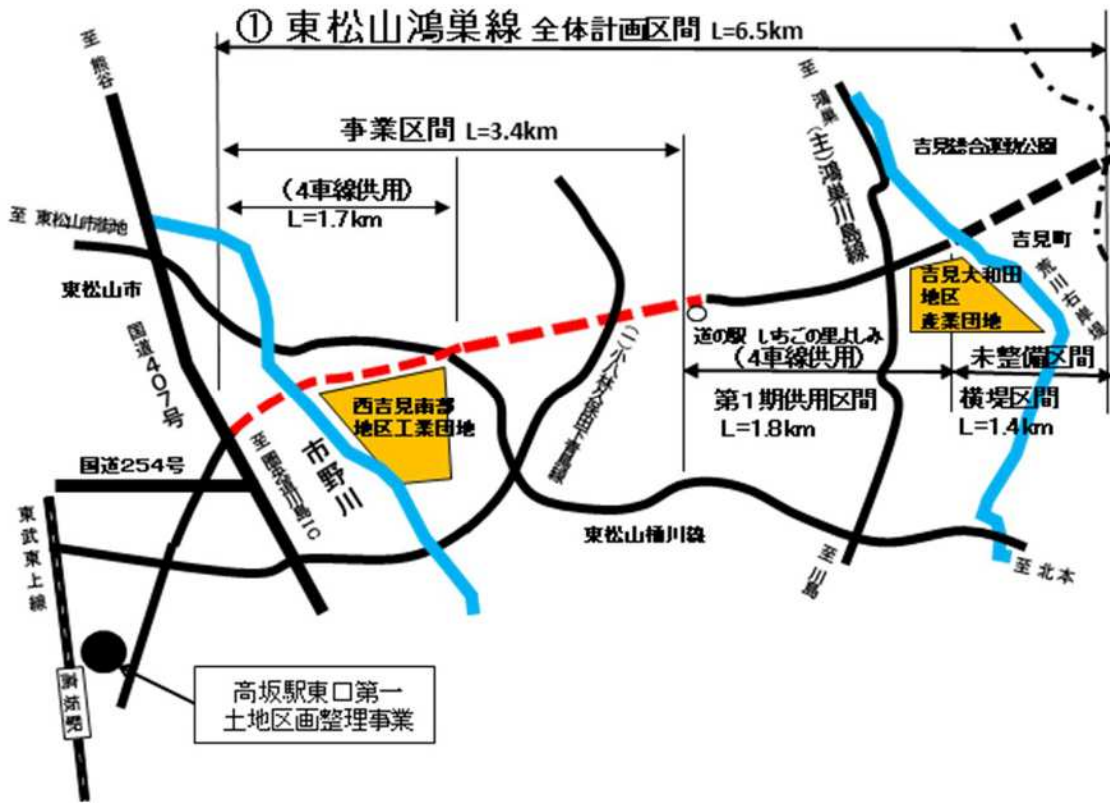
事業概要

1 産業拠点を支えるインフラ整備 1,211,110千円

(1) 産業拠点へのアクセス道路の整備 1,211,110千円

新たな産業団地の造成が予定されている箇所や既存の産業団地などへのアクセス道路整備を8路線8箇所を実施する。

○実施箇所例(東松山鴻巣線)



○事業実施箇所

No	路線	市町村	工区
①	東松山鴻巣線	吉見町	久保田
②	国道407号	鶴ヶ島市	鶴ヶ島日高BP
③	青山熊谷線	東松山市、熊谷市	岡・中曽根
④	熊谷羽生線	熊谷市	上之
⑤	深谷嵐山線	深谷市	上原
⑥	花園本庄線	深谷市	武蔵野
⑦	越谷野田線	松伏町	田島
⑧	行田蓮田線	蓮田市	下栢間



現道の渋滞状況  
東松山鴻巣線(吉見町内)



整備状況  
東松山鴻巣線



担当 道路街路課 街路担当  
内線 5056

## 目的

春日部駅付近は、ピーク時1時間当たり40分以上遮断しているいわゆる「開かざる踏切」を含む複数の踏切が集中しており、交通渋滞や踏切事故、中心市街地の分断などの問題が生じている。

このような状況を解消するため、鉄道を高架化し、複数の踏切を除却することにより、走行時間の短縮や交通安全の確保はもとより、地域の賑わいの創出や沿線の利便性の向上などの効果発現を目指す。

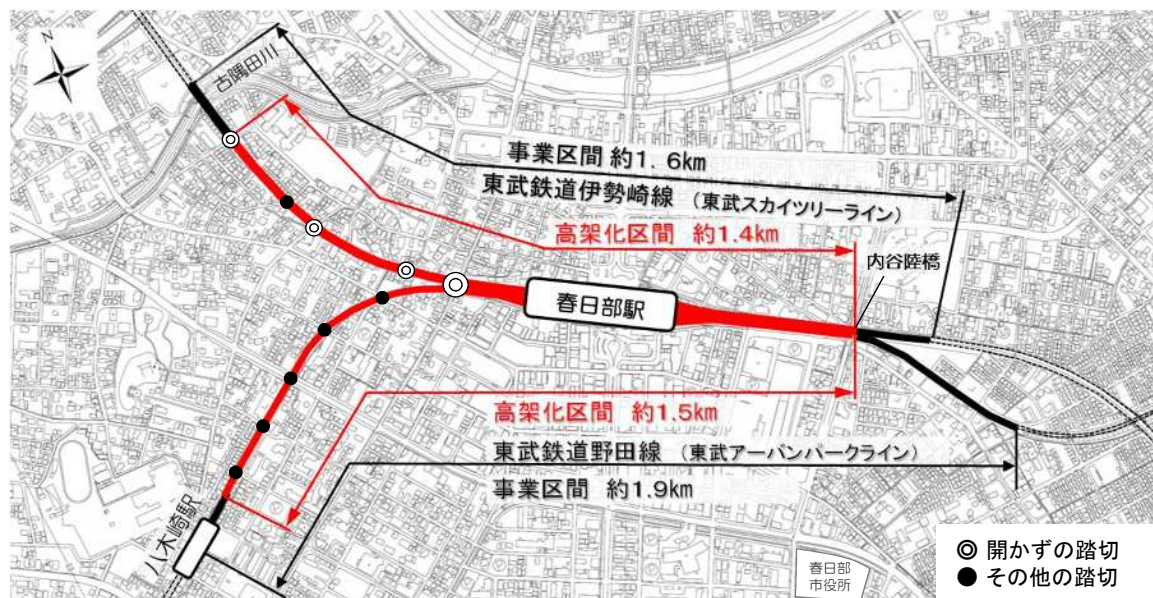
## 事業概要

### 1 鉄道高架で踏切ゼロ！の推進 3,031,191千円

#### (1) 連続立体交差事業費 3,031,191千円

東武鉄道伊勢崎線・野田線の春日部駅付近を高架化することにより、10箇所の踏切を除却する。

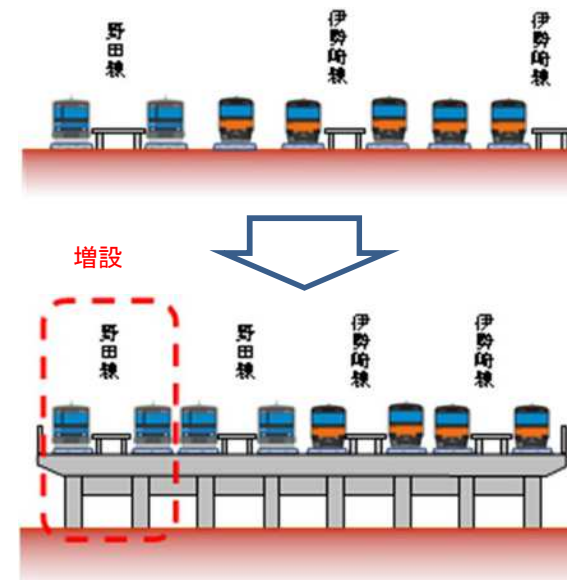
さらに、春日部市による駅周辺のまちづくりや鉄道事業者による鉄道機能の増強等を併せて行い、事業効果を最大限に発揮する。



春日部駅東口仮駅舎



伊勢崎線仮上り線



一部新規

担当 河川環境課 河川環境担当、ダム管理担当  
内線 5112、5116

目的

埼玉版スーパー・シティプロジェクトにおける地域まちづくり計画を踏まえ、市町村事業と連携した県事業の整備を進める。また、多様な主体と連携しながら河川空間の利活用を推進する「Next川の再生」に取り組む。

事業概要

1 埼玉版スーパー・シティプロジェクトの推進 120,000千円

(1) 水辺deベンチャーチャレンジ (拡充) 70,000千円

スーパー・シティエリア内において市町村事業と連携して、水辺deベンチャーチャレンジ事業を加速化することにより、市町村によるコンパクトなまちづくりを支援する。



大落古利根川の水辺整備(杉戸町)

(2) 浮きウキカーボンニュートラル (新規) 50,000千円

県管理調節池を活用した太陽光発電設備の設置を市町村に促すための基盤整備により、再生可能エネルギーの地産地消や地域防災によるレジリエントなまちづくりの推進を支援する。



イメージ図

太陽光発電設備設置予定地(権現堂調節池・久喜市)

2 Next川の再生の推進 1,094,000千円

(1) 民間事業者等と連携した水辺空間の利活用 1,084,000千円

水辺空間の利活用について、企画段階から民間事業者等と連携を強化し、より魅力ある水辺空間を創出する。



大相模調節池の水辺整備(越谷市)

(2) GOGO空心菜 (新規) 10,000千円

大相模調節池に「浮く畑」を設置し、民間事業者や周辺の高校などと連携して、空心菜などの水耕栽培を行い、水質改善を促進する。

併せて、大相模調節池のネーミングライツにより、民間から資金を調達し、修繕や効果測定などの継続的な維持管理を実施する。



浮く畑の設置事例(阿木川ダム・岐阜県)